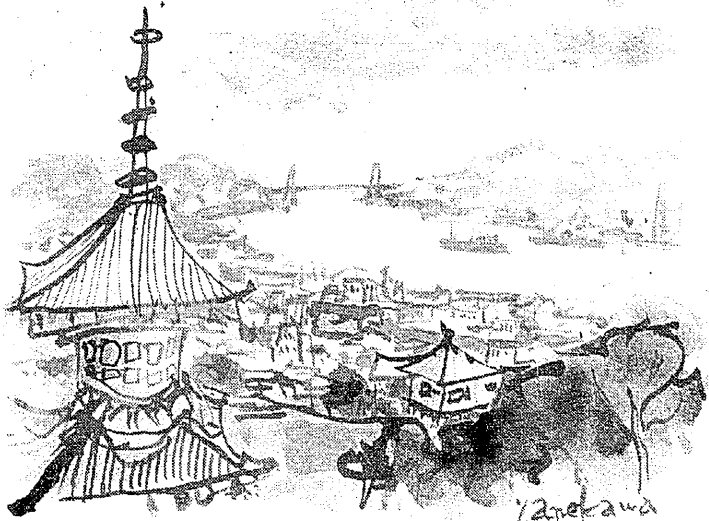


海と船と港



尾道

画 姉川良男

尾道は坂の町。「海が見えた。海が見える。五年振りに見る尾道の海はなつかしい」と、林芙美子が『放浪記』に書いたのはこの町の裏山からの描写である。この町には浄土寺、西国寺、千光寺など有名な古寺が多い。



先日(お盆休み)小石原の里を訪ねた。

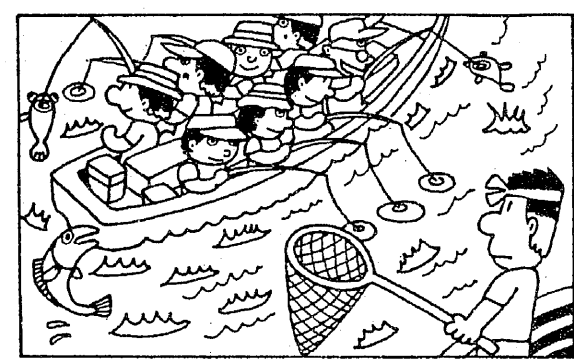
小石原を訪ねて

荒尾ブロッコ 古閑美子

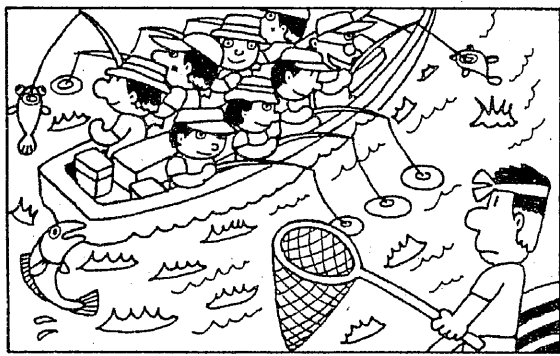
「いいえ、珍珠山は村の名前で、芸セーターで作品を自作することまではありません」と笑い顔。「宝満山はこの近くでしょ?」

「まだ先の方で、福岡の近くで隣接する食堂で椎茸そばに舌つ車に戻って主人にひと文句。つみをうつたあと二〇〇号線に戻

写真を取り、茶店でひと休みしてから二〇〇号線を行き、筋湯温泉で汗を流して帰ろうと思ったのですがどこも満杯。地熱発電の白煙を横目にしながら阿蘇に向かいました。



7つのまちがい



<問題>下の絵は上と7カ所のまちがいがあります。どこでしょう。(印刷のよごれやかすれはまちがいにはいりません) 答えは3面に。 出題・西山 進

夏の疲れがなかなかとれないで憂うつな方は、身体に力が入る食生活を工夫してみましょう。

夏は、暑いからといって、冷たいものをたくさん食べて、身体を冷やしてしまうと、身体が弱まってしまう。むしろ干しや煮干し、牛乳(400cc)

現在、ありとあらゆる物が豊富にはなっています。望めば多少の物は、手に入ります。

まず第一に、いま必要としない物は買わないことです。当たり前

暮らしのヒント

(料理と生活)

暮らしのヒント

秋雨がしとしと降る日はわびしい。とくに単身赴任で家族から離れたら、都会で帰れないとき、格別緊急の用もあるわけでもないという状況に陥り易い。

配している神経系を健康に保つことが必要である。夏の暑い中を、余り働きすぎてバカンスも適当にとらなかつたと思うのであったら、その穴を埋めることが必要である。

このように、適度な休息を取りながら日常生活の中で、わびしいを取り除いていくのに呼吸法がある。「寛守丹田」とい

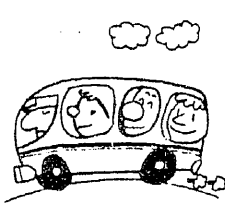
をうめて明るい展望と楽観主義で満ちていくと、ちやちやしている気分が、次第にさわやかになってくるのが妙である。

歳時記

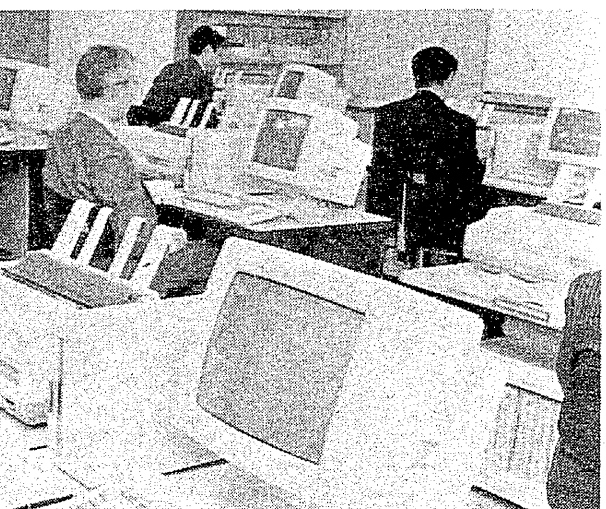
わびしい

秋の長雨

神山恵三



指の運動が老化防止に役立つ、という説もある。今のパソコンは単なる計算機ではない。ゲーム機、タイフ、資料ファイル、通信機、自動翻訳機、絵画・図面作成機、楽器と、さまざまな機能を持つ。使用の方によつては、まさに、夢の万能機械だ。おまけに安いMSXなら一万円台から、16ビットの高級機でも三十万円前後と安価になった。



生活をとるまわりの場所にOA機器が進出、老化防止と売り込まれている。

職場だけでなく、家庭にもパソコンが入りこんでいる。ゲーム用のファミコンが六百五十万台、十三社共同規格のMSXパソコンが百万台も売れた。八〇年代の三種の神器はビデオ、電子レンジとパソコンだ。町に出れば、スーパーの店頭で一番前の電卓並みにワープロ(これも単機能のパソコン)が山積みされている。専業主婦や高齢者向けのワープロ・パソコン教室も盛況だ。キーをたたく

周辺機器やソフトが高い

用途を考えて購入

パソコン・ライフ入門(上)